



令和3年(2021年)
10月発行

広島県の木「もみじ」

陽だまり



会長 あいさつ

広島県在宅保健福祉活動者の会
会長 阿川 眞澄

昨年、待ちに待った東京オリンピックが、目には見えな
い新型コロナウイルス感染症という脅威にさらされ、異例
の延期になり、今年やっと開催されました。しかし、未だ
に終息は見えず、人々の交流や経済活動なども制限され、
感染者の急増で医療現場は逼迫し、在宅療養者が増えたこ
とにより患者・家族の不安も深刻になっています。

このような現状の中、当会会員の皆様は、保健・医療・
福祉専門職としての長年の実績と経験を活かし、不安にな
っている方々に対して、相談やアドバイスを応じるなど、
頼りになる存在になって頂いている事と思います。

当会では、このような活動の支援や最新情報習得のため
の研修会などを開催していましたが、やむを得ず中止せざ
るを得ない状況になり、残念ながら貴重な学びの場の回数
が減ってしまいました。

しかし、手をこまねいていたばかりではありません。地
区活動推進専門部会では、新型コロナウイルス感染症の終
息を見越して、地域活動に向けてフレイルを主題にした媒
体を事務局の協力を得て作成して
おります。

今後、会員三職種で、サロンや通い
の場などで活用していただきたいと切
に願っています。



令和3年度総会の報告



1 議決事項

- 第1号議案 令和2年度広島県在宅保健福祉活動者の会事業報告の認定について
第2号議案 令和3年度広島県在宅保健福祉活動者の会事業計画の認定について

2 書面開催

- 議決日 令和3年6月4日
結果 (1) 回答数 132
(2) 第1号議案～第2号議案 全て承認



3 御意見・御感想（回答票から）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限され、会発足時より会員が減少しているため、会員増のための努力が必要です。
- ・長いコロナ禍で事業の中止が続き残念です。活動の中でスキルアップは不可欠なので、早く研修会や活動が出来るよう願っています。

☆令和 3 年度の役員の方々です☆～地域の保健福祉活動の充実を目指して～

役員の紹介



【理事】

会長	阿川 眞澄	歯科衛生士	広島
副会長	古江 一子	看護師	広島
副会長	村上 美恵子	管理栄養士	広島西
理事	荒巻 明美	保健師	広島
理事	木原 千代子	保健師	広島中央
理事	山口 保子	保健師	呉
理事	佐藤 百合子	看護師	尾三
理事	篠原 幸子	管理栄養士	尾三
理事	大久保 邦子	歯科衛生士	福山・府中
理事	伊達 隆子	管理栄養士	福山・府中
理事	西本 千恵美	保健師	福山・府中
理事	川上 良美	保健師	備北

【専門部会員】

部会長	椎木 照子	保健師	広島
副部会長	宮下 政子	歯科衛生士	広島
部会員	吉光 成美	保健師	広島
部会員	高杉 まり子	管理栄養士	広島西
部会員	蔵永 千栄	看護師	広島中央
部会員	光永 美恵子	保健師	広島北

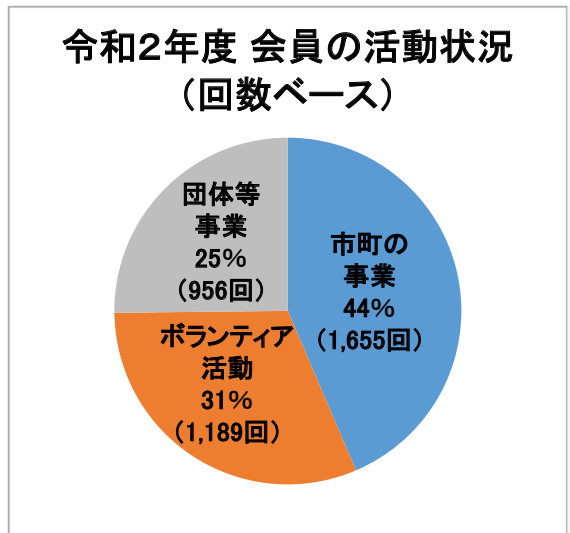
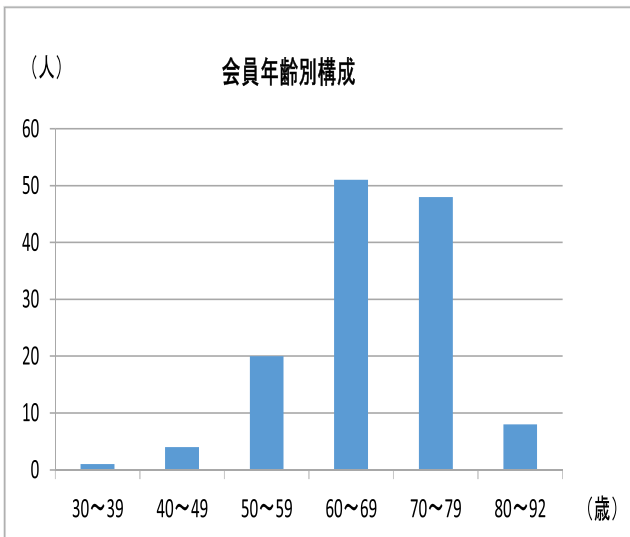


広島県在宅保健福祉活動者の会会員調査結果



調査期間 令和 3 年 3 月 18 日～令和 3 年 4 月 30 日 調査方法 アンケート用紙配布
 調査人数 157 名 回答者数 132 名 回答率 84.1%

会員調査の結果、132 名の方から回答がありました。会員は 60 歳代が最も多く、次いで 70 歳代、50 歳代となっており、平均年齢は 67.2 歳となっています。年間の活動状況については、132 名中 87 人と、66%の会員が地域の保健活動に携わっています。活動の内訳を見ますと、市町の事業が 44%と最も多く、次いでボランティア活動が 31%となっています。



地区活動推進専門部会について

広島県在宅保健福祉活動者の会における緩和ケア等専門部会は、地区活動推進専門部会へ再編しました。

この部会は、広島県在宅保健福祉活動者の会が提言する地域課題に対して、三職種による先駆的な地区活動を具体化し実施することにより、地域住民の健康の保持増進を図ることを目的としています。

現在、会員が個々で地域の健康づくり活動に取り組まれていることが、会員の連携体制を構築することで地域課題の共有化や効果的な地区活動が出来ると考えました。平成31年度から地区活動活性化モデル事業を実施し、具体的には、広島市佐伯地区をモデル地区として、会長、副会長、地区活動推進専門部会及び佐伯地区会員が協力し、地域の健康課題や自分たちが出来ることについて検討してきました。

三職種が専門性を活かして、地域住民の健康寿命の延伸を目指すためにフレイル予防に取り組むこととし、具体的にはサロン(通いの場)において健康教育を実施できる体制を協議し具体化しているところです。

地域住民の方々に、より理解を深めていただくために、フレイルに焦点を当てた紙芝居を作成しました。この紙芝居は、二種類あるため、各会員が自分に適したものを使用することが出来、また、各自で使いやすく工夫することも出来ます。

今後、この佐伯地区のような活動を県内各地での健康教育へ発展させ、地域住民の健康の保持・増進に繋げていきたいと考えています。



☆紙芝居の一部を紹介☆

フレイルは4つに分類されます

A「身体的フレイル」
B「オーラルフレイル」
C「心理的・認知的フレイル」
D「社会的フレイル」

フレイルは様々な要素が絡み合っている

やせすぎ禁物、食べて元気に

糖質、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラル

歯科受診・日常生活で口を健康に

口の中を清潔に!
みんなで楽しく口の筋肉を使いましょう!
カラオケや音読などで鍛えましょう!

都道府県在宅保健師等会全国連絡会

都道府県在宅保健師等会全国連絡会の役員において、現役員が令和3年9月30日をもって満了され、令和3年10月1日より、広島県在宅保健福祉活動者の会会長の阿川 眞澄氏が就任することとなりました。全国連絡会役員会は、11月上旬に開催される予定です。今後ともよろしくお願いたします。

第 26 回ひろしまナイチンゲール賞受賞おめでとうございます！

この度、第26回ひろしまナイチンゲール賞に、歯科衛生士の安田潤子さんが、今までの活動の功績が認められ受賞されました。安田さんは、ボランティアとして、平成30年の西日本豪雨災害で被災地支援に参加され、エソール広島電話相談員として従事し、現在は広島市歯科保健事業乳幼児健康診査業務推進員や広島市民生委員・児童委員に任命され活躍されています。今回、新型コロナウイルス感染症の拡大により授賞式が中止になり、国保会館にて、広島県より証書を授与されました。



第26回ひろしまナイチンゲール賞を受賞して

広島市 歯科衛生士

安田 潤子

この度は、ひろしまナイチンゲール賞を受賞するという身に余る荣誉にあずかり、心より厚くお礼申し上げます。

受賞に際し、広島県国民健康保険団体連合会、広島県在宅保健福祉活動者の会「陽だまりの会」の皆様には、多大なるご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

昭和50年より歯科衛生士として業務に従事し、平成13年から広島市の母子保健事業で虫歯予防教室、乳幼児歯科健康診査、そして、地域の高齢者の通いの場での介護予防教室など、あらゆるライフステージにおいて歯科衛生士として、地域の保健活動に携わることが出来ました。

今日まで活動できたのは、諸先輩の皆様のご指導の賜物と感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人との距離が遠くなる今だからこそ、地域の方々に可能な限り寄り添い、良き相談相手になり、歯科保健の向上に微力ながら尽力する所存でございます。



お知らせ

ひろしまフードフェスティバル2021は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月開催は中止になりました。今後の開催は未定です。



会 員 募 集

広島県在宅保健福祉活動者の会「陽だまりの会」では、随時、会員を募集しています。

広島県内にお住いの常勤で勤務されていない在宅専門職（看護職・栄養士職・歯科衛生士）の方で、研修会で知識などを身に付けたい方、地域活動をしたいとお考えの方は、事務局まで御連絡ください。



広島県国民健康保険イメージキャラクター「コッピー」

広島県国民健康保険団体連合会
総務部 保健事業課
〒730-8503
広島市中区東白島町 19-49 国保会館
TEL: 082-554-0772
FAX: 082-511-9121
Eメール: jigyou@hiroshima-kokuho.jp

お 知 ら せ

これまでに退会を申し出られましたにも関わらず本誌が届いた方は、御面倒をおかけしますが、事務局まで御連絡ください。